

Hello, Kids!

小学校英語
情報誌

2007
vol.1-1

特集：コミュニケーション能力を高める



「言わされる」英語
ではなく、心から
伝え合うための場面作り、
触って楽しめる教材作りを
心がけています。



紙皿を利用した
自作教材です。



群馬県邑楽郡
大泉町立北小学校
清水美希先生

巻頭言 小学校英語への期待と課題

白畑知彦 (静岡大学教授) 2

小学校英語を確かなものとするために

高橋正治 (愛知県西尾市立寺津小学校校長) 3

実践報告 コミュニケーション中心の英語活動での指導の工夫

平山幸次 (千葉県柏市立豊小学校校長) 4

楽しい小学校英語活動

友藤智栄美 (兵庫県小野市立市場小学校教諭) 6

学級担任のための英語救急箱 8

Say "Hello" with Alison! 根本アリソン (福島県原町市ALT) 8

開隆堂

小学校英語への期待と課題

静岡大学教授 白畑 知彦



小学校での英語活動は、新学習指導要領下でどのような位置づけになるのか、まだ明確には示されていませんが、これからの小学校英語で望ましいことは何かをご一緒に考えていきましょう。

ところで、私の著書や論文の一部をもって、私が小学校英語活動反対論者であるかのようにとらえていらっしゃる方もおられるようですが、これはとんだ誤解です。むしろ私は、小学校英語はどうすればよりよい方向に行くのかと日々試行されている方々と同じ位置にいると思っています。

ただ数年後に、教科という枠ではないにしても、全国の小学校に英語を一律に導入していくとなると、解決しなくてはならない様々な課題が生じてくることは必至で、その対策や解決のためのよりよい方策を探りながら、慎重に取り組んでいくべきだと思っています。

それは、小学校の教育現場で実際のところ何ができて何ができないのか、客観的データに基づく研究や議論がこれまでほとんど行われていないからです。第二言語習得研究を生業にしている研究者の端くれとしては、日本の英語教育の将来に関わる大切なことなので拙速を避け、小学校の現状をきちんと踏まえながら進むべきだと思っています。

県内という限られた範囲ですが、私は小学校での英語活動を時間の許す限り参観し、先生方とお話をさせていただいております。そこでは英語専門でないが故の悩みを含め、実に様々な相談を受けます。そのような悩みをお持ちの全国の先生方とともに、様々な問題を乗り越えていくために、よりよい英語活動と、中学校英語への橋渡しの実現方法を探っていきたいと思います。

さて、「英語を習う前に日本語（国語）をしっかり勉強することが大事だ」という意見がありますが、これには国語教育と英語教育は別物だという前提があると思います。はたして両者は相容れないものでしょうか。

私はそれぞれの教育が目指すものは、つまるところ一緒だと思います。それはことばで相手に自分の考えを伝え、また相手の意見に耳を傾けること、要するにコミュニケーションです。ことばは人間が人間として存在する証拠であり、自分の考えを持っていないと日本語でも他者と話ではできません。特に外国語で話す場合、文法や発音が多少間違っているとしても、話の内容が興味深いものなら、相手は真剣に聞いてくれるものです。

詩人ゲーテは、「自国のことばや文化を深く知りたければ外国語を勉強することだ」と言いました。表層的な英語を勉強するのではなく、「自分とは何か」「日本（語）とは何か」を見つめるために、英語を通してアプローチするのは有意義でしょう。また、英語活動のゲーム的要素のみに目を向けるのではなく、子どもたちの知的好奇心を活性化するような英語活動に取り組むことも当然必要です。

「言語化する力の育成」は小学校の英語教育の意義に加えるべき重要なテーマであり、自分の意見を言語化でき、Yes、Noが言える人間の育成といった大目標の下、英語教育と国語教育は車の両輪のような関係になるべきだと考えます。その意味で小・中・高等学校連携の必要性はますます高まってきます。

小学校英語を 確かなものとするために

愛知県西尾市立寺津小学校校長 高橋 正治



本校では、小学校英語を確かなものとするために、次の7点に留意しながら教科として実践している。

1. 学級担任が主役

学校教育活動として年間を通して計画的に英語を授業として進めていくために、6年生の出口での姿（目標設定）を明確にし、そのためのカリキュラムを作成した。そのカリキュラムにそって、学級担任が計画的に学習を進めている。将来的には、JTEの小学校配置による専科制も可能である。

2. 英語学習はTTで

学級担任が主役の英語学習でも、英語独特の発音やリズム感などの指導においては、ALTに勝るものはない。教育委員会に働きかけてALTを確保したり、学区内の住民の中から英会話に堪能な英語ボランティア（GT^{*1}）を確保し、授業支援を受ける方法もある。授業の中で役割分担を明確にすれば、学習効果が上がることは間違いない。

3. 英語学習は1年生から

小学校英語は、「聞く・話す」活動が中心である。英語独特の発音やリズム・イントネーションの基礎を体得するには低学年がふさわしい。45分間の1単位時間を使わなくてもよいので、低学年から英語学習の時間を確保したい。こうすることで、全学級担任が英語に関わることができる。そして、児童の学校生活のいろいろな場面で英語にふれる場を設定することが可能となる。

4. 高学年での工夫

小学校英語で一般に行われている、英語の歌やゲーム

的活動だけでは、知的好奇心の高まりがみられる高学年は満足しない。単元の学習の見通しが持てる場や疑問が解決できる場、知的好奇心が満たされる場の設定を工夫することが大切である。

5. 教材・教具の共有化

英語学習では、絵カードをはじめ数多くの教材・教具が必要である。これらは、学年や単元を超えて使える。すべての学級担任が共通で使えるように、単元整理ボックスなどを準備し、いつでも活用できるようにしておくことがきわめて大切である。

6. 目標を明確に

小学校英語の教科化の可能性は低いと思われるが、年間計画のもとに授業をする以上、学習目標への確実な到達を目指さなければならない。また目標への到達度を評価し、指導の改善に生かさなければならない。

本校では、作成したカリキュラムをもとに、単元別に評価規準表を作成している。毎時間の授業の中で、覚える活動や教師とGTによるチェック活動を取り入れている。定着が悪ければすぐにフィードバックするようにしている。

7. 中学校との連携

小学校での英語学習は、中学校で生かされて初めて価値がある。今まで多くの研究開発学校や教育特区で小学校英語に取り組んできているが、中学英語が変わらないため、あまりその成果が生かされなかった。本校は英語学習導入時から、関係中学校の英語科との確かな連携（一貫教育）を図るようにしている。

*1 GT: Guest Teacher (ゲストティーチャー)

コミュニケーション中心の英語活動での指導の工夫



千葉県柏市立豊小学校校長 平山 幸次

1. はじめに

本校は平成15年度より市から研究指定を受けている。将来的にコミュニケーション能力育成のための「英語」が小学校において必修化されることを見据え、「英語で育成するコミュニケーション能力とはどのようなものか」「コミュニケーション能力を育成するための英語の指導方法とはどのようなものか」について研究を進めてきた。また、英語のスキルについて自信を持たない多くの小学校教員が実践できるように、指導技術をより一般化し、他校が実践する際の参考となるように進めてきたつもりである。

●研究主題

思いや立場を理解し合いながら、伝え合う力を育成する学習指導のあり方

～英語活動の指導を通して～

◆活動案作りの留意点

<担任及びFLT¹⁾の留意点>

- ・担任が中心となる活動案をFLTと一緒に担任が作成する。
- ・言語習得を目的としない。
- ・知的好奇心が高まる活動を中心に取り入れる。
- ・教師自身の評価（「できた、できない」）を数値で評価するのではなく、意欲を重視した評価を行い、活動案作成時に学団で検討する。
- ・担任が授業をリードし、FLTはよりネイティブな英語の発話が必要な場面において、授業をリードする。

<授業での実際場面>

- ・子どもがすぐに英語を話し出すことを期待せず、教師がたくさん英語を話す。
- ・子どもが聞いて覚えらるような単語を繰り返す。



FLTと活動案の検討

¹⁾ FLT: Foreign Language Teacher (外国語指導講師)

- ・ことばがよくわからなくても頑張って聞いてみようと思う「忍耐力」が育つような題材選択、構成の工夫、賞賛の声かけをする。

2. 英語活動のねらいの確認

本校のコミュニケーション中心の英語活動で何を育成するのか

～コミュニケーション中心の英語活動とは～

- ・担任、FLT、ALTが英語でたくさん子どもたちに語りかける活動である。耳からたくさん英語に触れて、心にことばを蓄積し、後にことばがあふれ出すことをねらう。
- ・教師と子どもたち、または子どもたちの間で、目的を達成するための伝え合いがある活動である。コミュニケーションの始まりは伝え合いの気持ちである。その気持ちは伝え合う目的から生まれる。活動に伝え合う目的を持たせ、外国語を話す相手でも進んで伝え合おうとするような態度の育成を図る。同時に相手の思いを推し量って聞くことの大切さが意識化されることをねらう。

3. 活動例(第5学年)

①単元名 「船長さんの命令」

②単元の目標

- ・Where is ～?やWho is ～?, Which way is ～?などの質問に答えたり、受け止めたりしようと発言したり、うなずいたり、指差したりしている。
- ・Taskについて友だちとよく話し合い、協力して達成しようとしている。
- ・前置詞の意味を類推して理解している。

③本時の目標

- ・社会科で学習した八方向を利用して、進んで宝物を探し、地図を組み立てようとする。

④展開

Procedure	教師の活動	児童の活動	Notes
挨拶	海賊の格好のHRTが、大きな袋を持ってくる。 We meet again! Do you remember my name?		地図帳
八方向確認	コンパスの絵を貼る。八方向の確認。 Which way is north? Please point north.	北があっち? 南がこっち?	コンパス 黒板
船長さんの命令	Now, game start! If you make a mistake or are too slow, sit down. Got it? 北を指させ・南を指させ	ゲーム? 楽しそうだ。 やってみるか。	
誰の宝①	Today, we play treasure hunt! Where is the Golden Poop? Hint! It is in the gym. In front of the stage is a blue circle. From the center of the circle, walk 10 steps. Northwest. Look up. ボランティアを募る。宝を見つけさせる。 黒板に正解の写真を貼る。	ゴールデン? 黄金の? 黄金の何だろう? やってみるか。	剣 バンダナ
誰の宝②	2枚目のシルエットの人物象を貼る。 Next, who is this? 50cm四方ほどの〇〇県の地図を見せる。 This is someone's secret treasure. There are 47 parts in total. Captain Jack says, "Stand up." Find all treasure. Go!	何だ、あれ、雲? 先生の身振りは体育館中を探せと 言っているみたいだ。 宝探しか。 頑張るぞ。	兵庫県地図 笛 立札
パズル組立	Everyone, circle around me. 関東地方を組み立てて見せる。 Put them together like this. Everybody, discuss how to put them together. 完成 This treasure is important and precious to all Japanese people.	あれ関東地方じゃないか。 どっちが北かな? どこに当てはまる?	
Closure	That's all for today. Until we meet again, see you!		

4. おわりに



「船長さんの命令」活動風景



最後まで勝ち残るのは誰かな?

昨年(2006年)11月2日に英語活動の公開研究会を行った。県内外から200名の参加者があり、関心の高さが見られた。この5年生の授業は「担任」のみで行い、はじめての試みではあったが、参観者にALTなしでもできるという印象を与えた。今の時代、以心伝心ということばが聞こえてこない。だからこそコミュニケーション能力の育成が求められる時代なのかもしれない。

楽しい英語活動に仕組んでいこう

1. 言語材料

あいさつはALT、担任と子どもたちをつなぐ短い大切なコミュニケーションの初めのことばである。ALTや担任が決まり切ったことば以外に、相手や子どもの様子の変化など何かいつもと違う表現を取り入れることで、雰囲気盛り上げる。授業で扱う素材や言語材料は、子どもたちにとって身近で具体的なものであり、彼らの興味・関心にそうものを選びたい。

- ア. 数字（数、値段、年齢、時間）に関する語句と表現
- イ. 動物に関する語句と表現
- ウ. 季節、月日、曜日、朝夕に関する語句と表現
- エ. 食べ物に関する語句と表現
- オ. 日常生活（乗り物、色彩、文具、買い物、生活）に関する語句と表現 など

2. 楽しい活動

- ア. 歌
- イ. チャンツ
- ウ. ゲーム
- エ. スキット
- オ. クイズ

これらの活動で変化をつけ、何度も繰り返すうちに、いつの間にか語句や簡単な文が自然に口から出るようになることを望みたい。チャンツやゲームのときはクラス全体で、半分で、または班単位

の集団で発音することを基本にし、よいときにはみんながgood signを出していくようにした。歌はあいさつ、季節に関連するものや、授業内容（数字や動物・色など）に関連したものなど、繰り返しが多く、動作を伴って楽しく歌えるものを選び、ホームルームの時間にも歌えるようにした。

ピクチャーカードを提示し、チャンツで単語の発音練

習を進めながらゲームにつなげていくなどして興味を引きつけていく。教師の使っているものと同じ絵柄の児童用の小さなピクチャーカードを用い、ゲーム化して使い方を工夫すると楽しんで続けていくことができる。まさにこのカードゲームの中に、コミュニケーションの力を高める大きな力があると言える。

3. 発展学習

単語やことばを広げていく1時間を小さな1つのブロックとするなら、そのブロックを形あるものに積み重ねていくことは大きな喜びにつながり、コミュニケーションの力を高める基本的な姿勢ができてくるものと思われる。それが発展学習である。

例えば、3年生で絵本*Brown Bear*を扱った後、子どもたちの好きな色・動物を選び、*My Brown Bear*を作成する。このとき、わからない単語はALTにたずねる。小スピーチとして自己紹介をする。

4年生で*Today is Monday*を扱った後、動物と曜日・食べ物を選び、*My Today is Monday*を作成する。動物やその鳴き声を学習した後、「ちょっと変わった大きなかぶ」を劇化する。

5年生で教室や学校生活について学習した後、ALTに学校案内をする。昔話「さるかに合戦」や「くじらぐも」（自作）などを劇化する。

6年生では低学年との交流会を開催する。昔話「ももたろう」の劇化や夢紹介を行う。*My ~ Book*を作るとき、子どもたちは自由に好きなものを選ぶので、わからないときは進んでALTにたずねに行き、うれしそうに“Thank you.”と言って作業を進めている。自分でことばを選び、たずねたいと思い行動する。劇化のときには、決められた台詞以外に、自分が取り入れたいことば、発したいことばをALTにたずね、劇作りを楽しむまでになっていった。

注：この報告は筆者の前任教 小野市立下東条小学校での実践です。

	年間カリキュラム 低学年		年間カリキュラム 中学年		年間カリキュラム 高学年	
月	主題	主な活動	主題	主な活動	主題	主な活動
4	あいさつをしよう	・ Hello. / Good morning. My name is ~. How are you? ALTや友だちと握手をしながら I'm fine, thank you. 歌 "Hello Song" "Good Morning"	ALTの先生と仲良くしよう	・ Hello. / My name is ~. Nice to meet you. I like (soccer). Do you like (soccer)? 歌 "Let's Be Friends" "See You"	ネームカードを作ろう	・ Whose name card is this? の文を含んだ教師の会話 ・ Let's read these name cards. ・ Let's make your name cards. ・ Green card, please. -Here you are.-Thank you. 歌 "Let's Be Friends"
5	これは何だ	・ What's this?-It's (a tiger). カードの一部を見せて Do you like (tigers)?-Yes I do. 絵本 <i>Brown Bear</i> 歌 "Good Morning" "See You"	何の鳴き声かな	・ What animal is this? (Bowwow). 動物の鳴き声を色々聞かせて Guess this animal. 絵本 <i>Polar Bear</i> 歌 "Listen Listen" "See You"	今何をしているのかな	・ What are you doing? の文を含んだ教師の会話 G ジェスチャーゲーム What are we doing? -You're playing (baseball). 歌 "You're My Sunshine"
6	～色にタッチしよう	・ What color is this?-(Blue). Do you like (blue)? Touch something (blue). G 3カードゲーム 歌 "Seven Steps" "See You"	ペットを紹介しよう	・ Do you have any pets? -Yes, I do. I have (a cat). 歌 "Old MacDonald Had a Farm"	〇〇先生(ALT)に学校案内をしよう	・ 教室の名前 What room is this?-It's (a gym). ・ 案内する教室について考える This is our (). / We have ~. グループ練習 歌 "Do Re Mi"
7	～色のドアをあげよう	・ What color is this door? アニマルハウスを見せて Please open the ~ door. What animal in this house? 絵本 <i>Brown Bear</i> 歌 "Seven Steps" "Twinkle Twinkle Little Stars"	[ちょっと変わった大きなかぶ]を演じよう	・ 1. 2. 3. Pull! It's no use. We can't do it. I know. Let's ask Mr. (cow)! 歌 "Mary Had a Little Lamb"	どこへ行ってみたいかな	・ 時刻の言い方 What time is it? ・ エイゴリアンマップで見えるもの What do you see? ・ 教師の会話 Where do you want to go? 歌 "Rain Rain Go Away"
9	運動会は楽しかったかな	・ How many white[red] balls do you see? Let's count. かごの中の紅白ボールを見せて ・ Do you like running race? G ジェスチャーゲーム What are they doing? 絵本 <i>Brown Bear</i> 歌 "Seven Steps" "Twinkle Twinkle Little Stars"	どこへ行きましたか	・ What do you see? -I see (a park). エイゴリアンマップを見せて ・ Where did you go? -To the sea. 歌 "If You're Happy"	どこへ行きましたか	・ Where did you go in summer vacation? の文を含んだ教師の会話 ・ 県と特産物を考える What prefecture is this? ・ インタビュー 歌 "If You're Happy"
10	10(12)まで数えよう	・ How many pumpkins do you see? かぼちゃのカードを見せて ・ Do you like running race? G ①Pick up the number card of ~. ②Guess the same number card. 歌 "Seven Steps" "Twinkle Twinkle Little Stars"	お天気はどうですか	・ How's the weather? -It's (sunny). G お天気ゲーム 歌 "The Weather Song"	修学旅行はどうでしたか	・ 県名当て ・ 修学旅行のふり返り How was your school trip? -I saw (<i>Daibutsu</i>). -How many foreigners did you talk to? 歌 "If You're Happy"
11	同じ色のカードを集めよう	・ Do you like red?-Yes I do. ・ Do you have a red card?-Yes I do. Here you are.-Thank you. G 5カードゲーム 歌 "Ten Little Pumpkins" "Red Is an Apple"	ある日～に出会ったよ	・ How's the weather? -It's (rainy). ・ One sunny day, I met (a bear). -How exciting! 歌 "The Weather Song" "One Sunny Day"	昔話を楽しもう	・ Please give me a chocolate. の文を含んだ教師の会話 ・ What do you have?-I have (a). Please give me (). ・ 「さるかに合戦」を聞く。 場面①～聞いてまねる 歌 "Take Me Home"
12	クリスマスカードをかざろう	・ What's this?-It's (a reindeer). left, right, up, down, stop, O.K. ・ What do you have?-I have ~. 歌 "Jingle Bells" "Red Is an Apple"	クリスマスツリーをかざろう	・ What's this? -It's (a sleigh). Put a sleigh under Santa Claus. 黒板のツリーに指示された位置に置く 歌 "We Wish You a Merry Christmas"	昔話「ももたろう」を楽しもう	・ What are you carrying in your bag? の文を含んだ教師の会話 G ゲーム「だれだろう」 What are you carrying?-I'm carrying (). ・ 場面①～聞いてまねる 歌 "We Wish You a Merry Christmas"
1	福笑いを楽しもう	・ What's this?-It's mouth. Touch your (eyes). G 福笑い What do you have? 各パーツを選び顔を仕上げる left, right, up, down 歌 "Bingo"	冬休みは楽しかったかな	・ 月の名前 ・ Did you have a good time? -Yes, I did. I went (skiing). 歌 "The Farmer in the Dell"	冬休みは楽しかったかな(日本のお正月)	・ Did you have a good time? の文を含んだ教師の会話 ・ 日本のお正月の行事や催し物 Did you have a good time? -Yes, I did. I got <i>otoshidama</i> . 歌 "Sailing"
2	これはだあれ	・ Who is this? -(Mother). My (mother) likes apples. 歌 "Bingo" "Finger Family"	自分の宝物を話そう	・ 月の名前 ・ 宝物を紹介する文を作る This is ~. My father gave it to me ~. 歌 "Twelve Months"	将来何になりたいの	・ I wanted to be a rugby player. の文を含んだ教師の会話 ・ 職業の言い方 What do you want to be? -I want to be (). ・ 自分の夢を文にする 歌 "Edelweiss"
3	後ろの正面だあれ	・ Who am I? Are you ~? G 後ろの正面だあれ(かごめかごめ) 歌 "Finger Family"	迷路(あみだ)を楽しもう	・ あみだくじの約束 Go straight. Turn right[left]. ・ What do you want? -We want ~. 歌 "The Wheels on the Bus"	どうしたの1年生と交流学習をしよう	・ What's the matter? の文を含んだ教師の会話 ・ I have a (cold ~). ・ 低学年との交流学習 プログラム決定 役割練習 歌 "John Brown's Baby"

※G ゲームの略



学級担任のための 英語救急箱

英語は、ずっと苦手でした。発音も自信がありません。子どもたちに変な英語をしゃべったり、教えてしまったりしたらと思うと、英語活動に積極的に取り組みません。自信を持って教えたいのですが、どうしたらよいですか。

小学校に英語の専門家はいません。その意味では誰でも同じ環境にあると言えます。発音はもちろん大事ですが、小学校において最も大切なことは、子どもたちが楽しんで英語にふれ、どんな相手とでも進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることです。

ここで、担任にとって重要なことは、間違いをおそれずにALTと話そうとしたり、自分の考えを何とか伝えたりしようと努力している姿を子どもに見せることです。もしどうしても心配であれば、中学生のときに教わった、th, v, f, l, rの5つの発音に気をつけ、大きな声で話してみてください。ALTにもよく通じるようになってきます。



Say "Hello" with Alison!

根本 アリソン

イギリス出身・1989年より福島県でALTとして活躍中

■出会い・再会するとき

「小学校にやってくるALTともっと話したい…」という皆さんのためのスクール英会話のコーナーです。Don't worry! I'll help you. 「心配は要りません。お手伝いします。」

今回は、出会いや再会する場面で役に立つ言い方の紹介です。

Thanks for coming today, Tom. 「今日はありがとうございます、トム。」のように最後にALTの名前を付け加えるとよいですね。

ALTと初めて会うときは Nice to meet you, Tom., 再会の場合は Nice to see you again, Tom. を使います。

よく耳にする Have a nice day. 「今日は楽しんでください。」より、Please enjoy your day with us. を使ってみてください。

英語はどんどん使わないと自分のものになりませんので、ぜひ積極的に機会を見つけては、相手が喜び会話にチャレンジしてください。

See you next time.

(福島県原町市ALT)

小学校英語教材のご案内

小学校英語アクティビティ・ブック

Sunshine Kids Book 1・2

初めて英語活動の授業をする先生でも、無理なく授業を展開できる小学校用英語教材です。

Book 1 英語のリズムにのって身体を動かしながら行う楽しい活動が中心。

Book 2 身近なテーマに関する英語を聞いて、子どもがどんどん英語を使えるようになる工夫が満載。

- 児童用テキスト A4変型判／各64ページ／オールカラー 定価 各494円(本体 470円)
- 教師用指導セット ①指導の手引き ②指導用CD ③指導用ビデオ ④絵カード
*セット販売のみ ⑤チャート(⑤はBook 2のみ) 定価 各14,700円(本体 14,000円)



小学校英語情報誌

Hello, Kids!

Vol.1-1(通巻1号)

定価120円(本体114円)
送料80円

平成19年1月19日印刷 平成19年1月25日発行(年4回発行) 編集兼発行人 山岸 忠雄

印刷所 株式会社興陽社 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8

発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

☎03(5684)6121(営業)・(5684)6118(販売)・(5684)6115(編集) <http://www.kairyudo.co.jp>



開隆堂出版株式会社

〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎03(5684)6111

北海道支社	〒060-0061	札幌市中央区南一条西6-11	札幌北沢ビル8階	☎011(231)0403
東北支社	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町1-11-1	萩野町Mビル2階	☎022(782)8511
名古屋支社	〒464-0802	名古屋市千種区星が丘元町14-4	星が丘プラザビル6階	☎052(789)1741
大阪支社	〒550-0013	大阪市西区新町2-10-16		☎06(6531)5782
九州支社	〒810-0075	福岡市中央区港2-1-5	FYCビル3階	☎092(733)0174